

「四季美湖物語」制作に当たって

ダックスムーン

1 コンセプト

- (1) 命を守る永遠のダム湖「四季美湖」の輝き～風、水、花、森、人そして命
- (2) ダムに沈んだむらの人々・日常の温かさ、自然の豊かさ～絆、幸せ、宝物
- (3) キーワード「もろびのように」。
- (4) 歌に情景が見える、ココロが見える

2 コンテンツ

Vol 1 回想、ココロに

- ・ダムに沈んだ村。君はその村が眠るこの森吉山の湖をみせたいという。君の思い出は今の君を創っているんだものね…。
君は目を閉じながら、ぼつりぼつりと遠い日の思い出を語り始めた。
春・夏・秋・冬…、そこには村の人々の温もりと笑顔、やさしさ。季節ごとに豊かな表情を見せる自然が息づいている…。「春、田植え後のむら祭りでみんなが集い笑い合った」「夏、夕闇の中、あぜ道でホタルを追いかけた」「秋、黄金色に実った稲穂を刈り取り、みんなではさ掛けをした」「冬、雪に閉ざされた村。まるで村全体が綿帽子をかぶったみたい。雪合戦、かまくら作り…」、その一つ一つが全部、君の宝物だったんだね…

Vol 2 希望、明日へ

- ・今、村の姿はない。でも、ふと見つめる水面に映る景色はあの頃と同じ。心と自然はずっと息づいて四季美湖に映し出されている…。「カヌーで広い湖水を渡る時の弾ける笑顔」「時折、銀色を翻して跳ねる四季美湖マス」「向かいの森から、こちらを見つめるは二ホンカモシカ」「耳を澄ませば、たくさんの鳥の合唱」…、この湖と包む自然は、なんて豊かで美しいのだろう。この輝きは希望…。
そう、「ふるさとは今も生きている」…。君が落とした涙は僕がぬぐうから、この湖の輝きがふるさとの、そして君の明日への輝きになるように。一步踏み出そうね。

Vol 3 命の源、永遠へ

- ・小さな頃の絵灯籠に夢を託したと話す君。そこにあっただのは、絆と約束なんだね。僕がぜんぶその夢を、君そのままに受け止めるよ。二人で生きていこうね。強く手をつないで、未来に歩き出そう。
風、水、花、森、人…四季美湖は命を紡ぐ湖、四季美湖は命を刻む湖、四季美湖は命を輝かせる湖。
君のふるさとの言葉「もろびのように」。心が今、澄み渡る…。
「もろびのように」永遠に命を紡ぎながら…。

し き み こ ものがたり

四季美湖物語

ダックスムーン

森吉山のこのダムに
眠っているふるさとを僕に見てほしいからと
桜ひとひら 水面に舞う春
目を閉じて 君は遠い季節をたどってる

むら祭りの笑顔 あぜ道のホタル
黄金揺れるはさ掛け 綿帽子…

風よ水よ 光る四季美湖よ
君の祈りが届くように

涙ひとひら 僕がぬぐうから
見てごらん ふるさとは今も生きてるよ

カヌーではしゃぐ声 跳ねる四季美マス
顔を見せるアオジシ 鳥の唄

花よ森よ 光る四季美湖よ
君の願いが叶うように

灯籠に描いた いにしへの夢を
全部抱えて君と歩き出そう

永遠を映して 光る四季美湖よ
命紡いで もろびのように

永遠を映して 光る四季美湖よ
命紡いで もろびのように

もろびのように

時空（とき）を超えて…